

## 『後悔しない人生』～あなたはどんな道を進みますか？～ 【Ⅱコリント 7:8～10, マタイ 27:1～10】

今までの人生の中で後悔した事のない人はいないのではないのでしょうか。ユダも自分の行いを後悔した一人でした。ユダは最初からイエス様を裏切ろうとしたのではなく、イエス様を信じていた故の行動でした。しかし、その先の事を考えない突発的な行動が大変な事を引き起こしてしまったのです。ユダはその事をひたすら後悔しました。その結果、ユダにとっては自分で命を絶ってしまうという最悪の結末になってしまうのでした。この様に「後悔」とは先の事を考えず突発的にとってしまった時に起こります。そしてしてしまった事を後悔します。その様な「後悔」の思いを引きずったままだと、先の事を考えられず後悔を繰り返してしまう事になってしまいます。聖書は「後悔する事」を喜んでいません。「後悔」と「悔い改め」この2つは同じようで両者は全く違うものだと言っています。後悔というギリシャ語メタメローマイは「悔いてなんとか心を入れ替えようとする」という意味です。しかし、聖書が強調する「悔い改め」(ギリシャ語のメタノイア)は、「方向転換をして罪人が神に立ち帰る」ことを意味しています。両者は似ているようで大きく異なります。自分で自分の心を変えようと努力するのが「後悔」ならば、自分で自分を変えることは不可能と知って神に立ち帰ることが「悔い改め」です。イエス様の最初のメッセージは「神の国は近づいている。悔い改めて福音を信じなさい」でした。人間的な後悔には救いがありません。どんなに自分を罰し自分を責め立て、どんな償いを試みようとするところには救いはありません。罪人に必要なことは「後悔」ではなく「悔い改め」です。何とか自分を変えようと自分にとどまることではなく、「神のもとに帰る」ことです。神のもとに帰ることなくして人生は何も解決しないのです。その両者の違いをきちんと理解しないで歩んでいると私達の口から出る言葉や行動も否定的なものばかりになってしまいます。言葉には力があります。また、あなたの発した言葉や行動は今も生きて働いています。否定的な言葉や行動は否定的な事柄を実現させてしまいます。その悪い言葉や突発的な行動が先を考えさせず後悔し続ける人生になってしまうのです。私達の人生は言葉に始まり言葉に終わると言っても過言ではありません。ですから、自分の口から出る言葉くらい自分で制していかなければならないのです。後悔しない為に**①過去ではない先を見る**。先を見る為に、もう後悔するような人生をつくるのはやめましょう。その為に自分が発する言葉を見直しましょう。**②愛され愛する**。全てが「愛している事」を基本に行わないと良い結果になりません。また、あなたは神様に誰よりも愛されているという存在だという事をもう一度知りましょう。愛されている事を実感できれば愛する事が出来ます。**③メタノイア!!**「メタ」は、「越える」とか「移す」を意味する前置詞。「ノイア」(原形ヌース)は、ものごとを考えるときの「筋道」、判断するときの「視点、立場」のことです。だから、「悔い改めなさい」とは、あなたが考えたり判断するときの視点、立場を移しなさい、ということです。「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネ 14:6)。とイエス様は言われています。どこに移すか、それは「道であり、真理であり、命である」イエス様の所にしか移せる場所はありません。